

漁業者の支援を

質問 漁業者は、不漁・安価で採算が取れない困難な経営を強いられている。港を整備することも必要だが、果たして本当に経営・生活の支援になっているのか。魚礁設置による漁場作りが必要ではないか。

町としても漁業者・漁協と一体となつて、早急に実現出来るよう積極的に国・県に働きかける必要がある。

農業には所得補償や色々な補助金・助成がある。漁業にも、経費の大

答弁(町長) 県では魚礁漁場を整備していくため基本計画を策定し、計画的に実施している。当町漁場での事業計画は、平成24～27年度まで、岩館小入川漁場にハタハタの増殖場、平成26～29年度まで、八森漁場に磯根資源の増殖場、平成26年度に岩館漁場に波型魚礁を造成する内容であり、実施したい。

支援策として、今年度も、漁業共済加入者掛金の20%助成や経営安定資金貸付など様々な支援を行っている。

現状では、漁業に限つての燃料や漁具等に対する支援は考えていない。

質問 地域住民が初期

防災対策について

消火に必要なホース・器具など、再度消火栓の近くに備えることについて。バケツリレーによる訓練も、水利が無くそれを活かすなければ何の役にも立たない。自主防災のためにも設備は必要と思うが、もう一度見直しする考えはないか。

避難訓練の在り方について。5月27日の町の訓練が本当に有事に活かされるのか。緊張感も無く、形だけの訓練でなかったのか。もっと有事を想定した、より効果的な訓練が必要だと思うが。

町道の安全確保について。路面ばかりでなく、周辺の法面・立木等の点検を行い、安全確保に努めなければならぬと思うが、点検が十分に行われているのか。

答弁(町長) 消火器具の設置は、ケガをする危険性があり、補償問題などがあつたことから、の問題があつたことから、

消火栓のところに再度ホース等を設置できないか

避難訓練の在り方について、訓練自体の反省点や、訓練することにより把握できた問題点、そして訓練してよかつたという住民の声などがあり、今後の訓練に活かしていきたい。

町道の安全確保について、通常の道路でもパトロールを実施しているほか、強風・大雨等の異常な天候時は、全路線でも実施している。倒木等の危険が予想される立木は処理を行つており、町民の安全・安心の確保に努めている。

国保税の負担軽減を

質問 当町の国保税について。

①国保税の負担が重すぎるのではないか。

②一般会計から法定外繰入を行い負担軽減の対策をとり滞納を減らす施策を。

③資格証明書(※)の発行を少なくする対策は。

④年利14・3%の延滞利息を減免する考えは。また、延滞金を減免することが不納欠損額を減らす対策ではないか。

答弁(町長) ①当町の一人あたりの医療費は県

内では上位から5番目、保険税の調定額は下位から6番目であり、当町の保険税は重すぎる状態ではない。

②被保険者の保険料で賄うのが原則である。

③まずは納税相談をしてもらいたい。

資格証明書は1年以上滞納したからといってすぐに発行してはいない。納税相談にも応じない、国保税を納付すること自体が考えられない状況の人に限つて発行している。

④法的な減免の根拠がなく、減免はできない。また、不納欠損額を減らすことが税法を遵守するよりも優先されるべき課題ではない。

用語解説
資格証明書：国保税を特別な事情もなく1年以上滞納すると保険証の代わりに交付される書類。

質問 新しく開園される統合保育園に、次の提案をしたがどうか。

①建設場所を経費節減のためにも、埋立の少ない国道寄りにする。

②子ども・子育て新システムが制度化された場合、保育園の給食は完全給食にする。

③園児の送迎を徹底する。

④臨時職員を含め、保育の仕事に従事する人たちの保障をする。

答弁(町長) ①八森地区統合子ども園建設候補地選定委員会の答申を含め、再度検討して最終案を示す。

②すぐには完全給食を考へていない。

③3歳児以上は、バスの送迎を予定している。

運行回数は岩館・八森方面、朝夕1回ずつを考へている。3歳未満児については保護者からの送迎をお願いしたい。

④臨時職員採用時の契約内容により実施している。特別に臨時保育士だけを保障する考へはない。

*このほかに、「子ども・子育て新システムが制度化されると、社会情勢の変化に伴い園児が能代市内の子ども園を利用することで激減するのではないか」、及び「公立ならではの魅力ある保育園設計画と保育内容を保護者等に示し、早期完成が求められるのではなかいか」の質問がありましたが、誌面の都合上、省略しました。



見上 政子 議員



腰山 良悦 議員

平成27年に開園される統合保育園について

